

議会あれこれ

議長からのメッセージ



古庄議長



▲人事案件投票のようす

**志免町の舵取り
議員も真剣に！**
**平成の大合併終結
問われる議会の真価**

二年前の「しめ議会だより」47号に「議会あれこれ」のコーナーを設けて頂き、今回56号、10回目の投稿となります。その47号のトップニュース

は、粕屋中南部6町の「法定合併協議会」設置の議案が志免町では一票差で可決したが、粕屋・久山、両町議会の否決にて破綻したニュースでした。そして、今年3月31日、現行の市町村合併特例法が期限切れとなり「平成の大合併」が終結し、これで全国の自治体は半減、九州では517の自治体が233に、福岡県は97が60となりました。

また昨年夏、本格的な政権交替がなされ、地方主権の推進が強く叫ばれ、地方自治にとって益々自治運営の真価が問われる時代となります。

昨年11月に香川県宇多津町で、全国の10㎞未満の自治体を対象にした「全国コンパクトタウン議会サミット」が開催され参加いたしました。小さな町でもどう生き残っていくか、真剣な議論が始まりました。

これからの志免町を、合併を含めどう舵取りしていくのかは、町民の皆様と共働しながら、二元代表制の首長と議会がしっかりと判断しなければならず、議会への期待と責任も大となります。

「議会基本条例」制定へ

ある新聞の記事に「最近、首長が住民の声を直接聞くのは議会が機能していないから」との記事がありました。

全国で進む議会基本条例の制定、通年議会のスタート等々。これらは全てこれからの自治運営への議会のあり方の危機感からの動きです。

志免町も6月、遅くとも9月議会までには「議会基本条例」を制定する予定です。信頼される議会、開かれた議会の構築に引き続き努力いたします。

議員定数問題を検討

地方自治運営の最高決定機関である議会の議員選挙が来春行われます。

「地方主権」の時代に即した議会のあり方を真剣に考え、現在の16名体制について、これから議論を行います。

建設的な皆様のご意見をお待ちしています。

(記・議長・古庄)

※議会・議員へのご意見をお待ちしております

◆議長へのメール：simegityo@yahoo.co.jp



請願(要望・陳情)・意見書

請 願	請 願 者	内 容	採決結果
郵政民営化の抜本見直しに関する意見書	郵政産業労働組合九州地方本部 執行委員長 森田佳人	1. 国民の権利として「郵便」「貯金」「保険」のユニバーサルサービスを全国あまねく公平に保障すること。 2. 郵便局ネットワークは、生活弱者の権利を保障し、格差を是正するとともに、ワンストップ行政の拠点として活用すること。 3. 郵便、貯金、保険の三事業を一体制にして一体経営とすること。 4. 株式は将来とも売却せず、政府が責任を持つ経営形態とすること。	賛成多数で採択 国へ意見書を提出

意 見 書	提 出 者	内 容	採決結果
県政・県町村会汚職事件の徹底説明及び再発防止のための政治倫理条例制定を求める意見書	末藤議員	福岡県町村会の「裏金」接待に端を発した汚職事件は、地方自治をふみにじた今回の事件の全容の解明と再発防止のため、①知事は、自らの責任を明確にするとともに、全容を解明し県民に報告すること。②実効ある政治倫理条例を制定すること。	全員賛成で採択 県へ意見書を提出
「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の核拡散防止条約再検討会議での採決に向けた取り組みを求める意見書	助村議員	2010年に開かれる核拡散防止条約再検討会議で、平和市長会議が提案する「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の採択に向け、核保有国を始めとする各国政府に働き掛けると共に、政府が国際的な核軍縮・不拡散の実現に向け、積極的な役割を果たすよう強く要請する。	全員賛成で採択 国へ意見書を提出

2月 臨時議会

第1回

平成21年度一般会計補正予算(第8号)

3億6289万円増。総額を103億5155万円

賛成多数(賛成14・反対1)

歳入は国からの学校情報通信技術環境整備事業費補助金、地域活性化・経済危機対策臨時交付金など町債(借り入れ金)、基金繰入(貯金のとり崩し)。

庁舎屋根防水改修工事 1366万円
多目的広場用地購入費 2億5031万円
道路改良舗装工事費 2500万円
小中学校施設整備工事 1175万円
総合公園テニスコート改修工事 3350万円
公民館外部等補修工事 854万円
(石橋台・吉原・志免四町内会)



▲33年目を迎え、年間約8000人が利用するテニスコート

2月19日開催